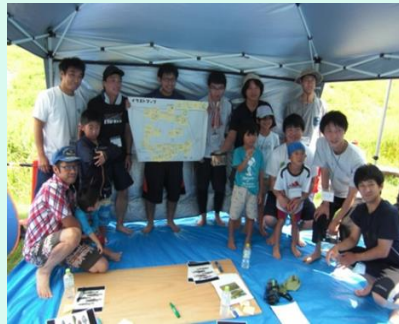


## 5 環境保全と社会貢献

### 1. 環境保全と社会貢献

一般市民や子供も参加する水環境保全等の社会貢献活動や、広報活動を共催又は協賛することにより、上下水道の水環境保全における役割等についての理解促進を図っています。

- ① 水循環に関するパネル展示やパンフレット等の資料配布
- ② 地方公共団体と協働した下水道フェア等の開催（4支部、4会場）
- ③ 水源林保全活動や河川等の清掃活動への共催・参加（5支部、6会場）また、小学生の上下水道への理解促進のため、小冊子を作成するとともに、他協会と協力して、「少年写真ニュース」への下水道の話題を掲載し、全国の小中学校約1万6千校へ配布しました。



「しぜん探検隊」生物の生息図を作成  
（関西支部）



「広島市下水道フェア」での出展ブースの模様（中国・四国支部）



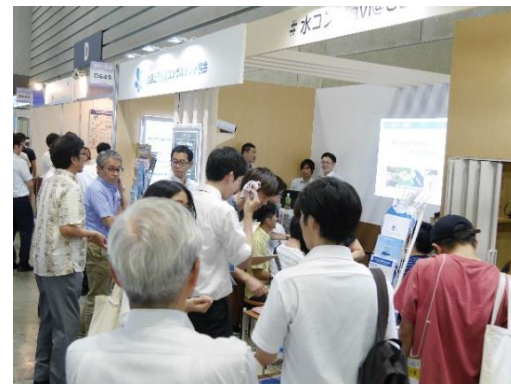
ラブアース・クリーンアップ2019 inふくつ（九州支部）

### 2. 下水道展'19横浜パシフィコ横浜展示ホール）に出展【8月6日～9日／4日間】

「学生に水コンサルタントの魅力を伝える」をコンセプトに「#水コンNavi@Cafe」と題してカフェスタイルの入りやすいブースを作成し、就職活動を控える学生向けのイベントを開催しました。



出展者表彰受賞



出展ブースの様子



Association of Water and Sewage Works Consultants Japan

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会（通称：水コン協 AWS CJ）

〒116-0013東京都荒川区西日暮里五丁目26番8号 スズヨシビル7階

TEL:03(6806)5751 FAX:03(6806)5753 <https://www.suikon.or.jp>

令和2年7月作成

水コン協  
AWS CJ

令和  
2年度版

Association of Water and Sewage Works Consultants Japan

# 令和元年度 事業活動とその成果

豊かな地球 水のある暮らし – 私たちの原点です

## 令和元年度の主な活動

### 1 第二期中期行動計画（2019-2021）の公表

水コン協では、5月に「新しい時代に魅力ある水コンサルタントをつくる」をキーコンセプトとする第二期中期行動計画（2019-2021）を策定し、「水システムを通して地域・都市を豊かに」を始めとする会員とともに取り組む10の主要行動を定めました。

### 2 人材確保・育成支援に係る活動の展開

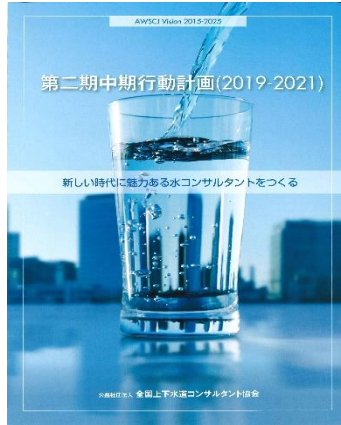
働き方改革関連法の成立を受けて、4月から時間外労働の上限規制が設けられ、会員にも適用されました（中小企業は令和2年4月適用）。事業体に対しても、要望と提案活動の中で、コンサルタントの就業環境改善について、適正な工期確保とウィークリー・スタンスの実施の協力をお願いしました。

### 3 災害時支援に係る活動の強化

3月末で上下水道事業体（以下、「事業体」とする）との災害時支援協定の締結が34団体（北海道、愛媛県との一括協定を含む）となりました。台風19号の際は、被災した下水道施設の復旧にあたり、会員が災害時支援協定に基づいた災害時支援を行いました。

### 4 支部活動

- 北海道支部
  - ・技術講習会の開催（7月、10月）
  - ・「私たちの大切な水」パネル貸出し、パンフレット 配布（5月～9月）
- 東北支部
  - ・「八瀬川1万人プロジェクト」への参加（9月）
  - ・「仙台市下水道フェア」のブースへの出展（11月）
- 関東支部
  - ・荒川・下水道フェスタ2019（NPO21世紀水倶楽部共催）（10月）
  - ・下水道事業座談会（1都8県、JS、国との意見交換）の開催（1月）
- 中部支部
  - ・富山県下水道フェスタ2019（9月）
  - ・水源涵養事業の準備・実施（10月）
- 関西支部
  - ・しぜん探検隊（私市水辺プラザ）（8月）
  - ・2府4県意見交換会（8月～10月）
- 中国・四国支部
  - ・日本ダクタイル鉄管協会共催講習会（7月、10月）
  - ・建設技術フォーラム2019 in 広島（11月）
- 九州支部
  - ・ラブアース2019 INふくつへの参加（6月）
  - ・水源涵養林の植樹（第21回耶馬の森林植樹の集い）（11月）



第二期中期行動計画パンフレット



「水コンサルタントになろう」改訂版



新ひだか町での水循環パネル展示状況  
（北海道支部）



「仙台市下水道フェア」クイズを出題している様子  
（東北支部）

## 1 調査研究

### 1. 調査研究（独自）

水道技術座談会「官公庁との座談会（水道）」（1月）などを実施し、得られた成果についてはHPへの掲載などの方法により情報公開しています。

### 2. 広報誌「水坤」の発行

広報誌「水坤」を発行し、会員各社への配布、地方公共団体、大学等の教育機関、国会図書館等への寄贈をしました。

◆ 夏号特集テーマ：「国土強靱化のための緊急対策への取り組み」（令和元年8月発行）

◆ 新春号特集テーマ：「令和時代の上下水道～わがまちの上下水道～」（令和元年12月発行）



水坤 新春号

### 3. 大学・他団体の実施する調査研究への参画・支援（受託調査研究）

日本下水道協会（下水道施設維持管理積算要領改定など9件）、日本水道協会（水道施設耐震工法指針・解説の改訂1件）、北海道大学（広域水管理に関するデータ収集）、東京大学（都市浸水・氾濫解析用地形モデル作成など2件）の4機関、合計13テーマについて受託し、主体的に参画・支援しました。この成果は、それぞれの団体から公開され広く活用されています。

### 4. 委員・講師の派遣

他団体等からの要請を受けて、「下水道技術開発会議」、「浄水技術支援委員会」など40委員会等に委員を延べ53名、また日本下水道事業団「下水道研修」、地方公共団体など主催の講演会・研修会に講師を延べ70名派遣しました。

## 2 要望と提案

### 1. 国等への提案活動

上水道・下水道設計標準歩掛について、配水池・ポンプ場更新設計（基本設計）歩掛を再検討するとともに、下水道用設計積算要領－設計委託編の改定に関して提案しました。水道技術座談会で、厚労省、事業者と「水道法改正の概要と自治体の対応、戦略とアイデア」について意見交換を行いました。また、国土交通省下水道部と「PPP分野における貢献、BIM/CIMの普及」等について、日本下水道事業団と設計等業務の実施について意見交換を行ないました。



水道技術座談会

### 2. 品確法の精神に則った調達制度の構築を要望

上下水道事業の執行上の課題について、「要望と提案(令和元年度版)」に取りまとめ、主な事業体に持参し改善の要望をするとともに、関東、中部、関西、九州の各支部では、都府県等との意見交換会を実施しました。特に、働き方改革関連法が施行され、生産性の高い働きやすい職場づくりが要請されたことを踏まえ、第一に、コンサルタントの就業環境改善を、続いて、成果物の品質確保に資する価格競争中心ではない技術力を評価した調達制度への転換等を要望しました。

## 3 人材育成

### 1. 技術研究発表会の開催、技術報告集の発行

第29回技術研究発表会を開催（7月）し、成果発表を通じ会員等の技術力向上を図りました。また、技術報告集「第34号」を発行・ホームページに掲載し、会員成果をアピールしました。

### 2. 技術講習会、研修会の開催

本部及び各支部において、技術講習会、技術研修会、技術士試験対策講習会等の公開型講習会を計24回（共催含む）開催し、延べ約1,890人（内訳、会員1,060人、地方公共団体職員470人、会員外民間360人）の方に参加いただきました。また、コンプライアンス研修会、若手研修会や施設見学会等を合計21回（共催含む）開催し、延べ約1,580人（内訳、会員800人、会員外民間780人）の方に参加いただきました。

### 3. 自己研鑽の奨励（CPD制度の運営）

継続的専門能力研鑽制度のプログラムとして57件を認定し、受講者にCPD受講証明書を発行しました。

### 4. 次世代人材の育成等

出前授業を実施（6月）しました。また、長野県木曾町との協定に基づき、水源地域の事業研修会（10月）を実施しました。



出前授業の様子（中部支部）



中部支部水源涵養事業（中部支部）

## 4 災害支援

行政のパートナーとしての役割を果たすため、他協会との連携・協働により減災、災害復旧・復興に関する支援体制の整備等を進めています。

- ① 事業者との災害時支援協定の締結など下水道BCP策定において協定に基づく関係団体の支援活動が注目されるなど、水コン協においては、令和元年度末で災害時支援協定の締結が34事例（北海道、愛媛県との一括協定を含む）になりました。台風19号の際は、被災した下水道施設の復旧にあたり、会員が災害時支援協定に基づいた災害時支援を行いました。
- ② 災害時支援者育成講習会  
災害等の発生時において災害時支援業務に関する会員の技術力アップを目的として、災害時支援者育成講習会を開始し、4支部の地区において開催しました。（7月、10月）
- ③ 災害時支援ブロック連絡会議、災害時支援全国代表者連絡会議への参加



災害時支援者育成講習会（大阪会場）

災害支援